

土木工事品質証明実施要領

第1 目的

品質証明は、発注者が必要と認めた工事について、請負者が品質証明に従事する者（以下「品質証明員」という。）を定め、品質証明員が工事の品質を確認し証明するものであり、従前から請負者が実施している社内検査を品質証明として位置づけ工事の品質確保の推進及び施工管理等の効率化を目的とする。

第2 品質証明

品質証明は、契約図書および関係図書に基づき、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとし、工事の各段階（工事着手、段階確認時、材料検査時及び検査（完成、中間、出来高検査等をいう。）等）の事前に必要な品質の確認（以下、品質確認という。）を行い、発注者に対して工事の品質を証明するものである。

第3 対象工事

宮城県土木部が発注する土木工事にあつて設計図書で品質証明の対象工事と明示された工事とする。

第4 資格要件

請負者は、原則として以下の要件の全てを満たす者を品質証明員として定めなければならない。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りではない。

- (1) 請負者と直接的な雇用関係にある者で当該工事に従事していない者。
- (2) 10年以上の現場経験を有し、技術士もしくは1級土木施工管理技士（造園工事にあつては、1級造園施工管理技士）の資格を有する者。

第5 品質証明員の通知

請負者は、契約締結後遅滞なく品質証明員を定め、現場代理人等通知書の提出と同時に書面により氏名、資格（資格証書の写しを添付）、経験及び経歴書および雇用関係を証明する資料を監督職員に提出しなければならない。

なお、品質証明員を変更した場合も同様とする。

第6 品質確認および品質証明の内容

品質証明員は、以下に示す内容について、証明する内容に応じ適宜、臨場または書類精査等により品質確認を行ない、その品質証明をしなければならない。

- (1) 品質証明書（様式-1）により品質証明を行なう内容
 - 1) 別表1「品質確認項目及び確認の程度」に示されている内容、設計図書で段階確認の対象と指定された内容、および監督職員と協議し対象となった内容。

- 2) 工事に使用する材料で、設計図書で対象となっている内容および監督職員と協議し対象となった内容。
 - 3) 出来形管理及び品質管理データの管理手法および精度。
- (2) 施工プロセス品質確認チェックリスト（様式-2）（以下、プロセスチェックリストという。）により品質証明を行なう内容
施工体制，施工状況（施工管理，工程管理，安全対策，対外関係）等の工事全般にわたる内容。

第7 実施計画および品質確認

(1) 実施計画

品質証明員は、契約図書および関係図書に基づき、第6（1）に規定する「品質証明書により品質証明を行なう内容」について事前に実施計画を作成（以下、品質証明計画書という。）し、「施工計画書 16.その他」に記載しなければならない。

(2) 品質確認

- 1) 第6（1）に規定する「品質証明書により証明する内容」の品質確認は、品質証明計画書に基づき実施し、その都度、結果を記録しなければならない。
- 2) 第6（2）に規定する「プロセスチェックリストにより品質証明を行なう内容」は、チェックリストに基づき、該当事項について適宜確認し、確認日、結果および指示事項等をチェックリストに記録しなければならない。
- 3) プロセスチェックリスト「2 施工状況， I 施工管理， O 施工計画書」の品質確認は、主要な工種について1回以上の臨場による確認を行なわなければならない。

【事例】：臨場による確認

- コンクリート工：打設・養生施工時 1回
- 表層工：敷き均し・転圧施工時 2回
- 盛土工：敷き均し・転圧施工時 1回

第8 提出書類および提出時期等

提出書類および提出時期等は、以下によるものとする。ただし、監督職員が確認を求めた場合は直ちに提出または提示しなければならない。

なお、工事成果品等で対象となる内容について品質証明ができないものについては、証明資料（図表，実施状況写真等）を添付しなければならない。

(1) 品質証明書

検査前に監督職員に提出し確認を受けなければならない。

(2) プロセスチェックリスト

現場着手時および検査前（完成検査を除く）に提示し監督職員の確認を受けなければならない。また、工事完成時は監督職員に提出し確認を受けなければならない。

第9 品質証明員の検査への立会

原則として、品質証明員は検査に立ち会わなければならない。ただし、監督職員が認めた場合はこの限りではない。

第10 品質証明に疑義がある場合の取り扱い

監督職員は、品質証明に疑義がある場合は、請負者に対し品質確認のやり直しを求めることができる。

なお、品質証明に著しく不適當な内容が認められるときは、請負者に対してその理由を明示した書面により、必要な措置を指示することができる。

附 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

別表1

品質確認項目及び確認の程度

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度	備 考
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回/1工事	
河川土工 海岸土工 砂防土工 (掘削工) 道路土工 (掘削工)		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
道路土工 (路床盛土工) 舗装工 (下層路盤)		ブルーフローリング 実施時	ブルーフローリング 実施状況	1回/1工事	
表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理 置換	処理完了時	使用材料、基準高、幅、 延長、施工厚さ	1回/1工事	
		掘削完了時	使用材料、幅、延長、置 換厚さ	1回/1工事	
	サンドマット	処理完了時	使用材料、幅、延長、施 工厚さ	1回/1工事	
バーチカル ドレーン工	サンドドレーン 袋詰式サンド ドレーン ペーパードレーン	施工時	使用材料、打込長さ	1回/200本	
		施工完了時	施工位置、杭径	1回/200本	
締固め改良工	サンドコンパクシ ョンパイル	施工時	使用材料、打込長さ	1回/200本	
		施工完了時	基準高、位置、杭径	1回/200本	
固結工	粉体噴射攪拌 高圧噴射攪拌 セメントミルク攪拌 生石灰パイル	施工時	使用材料、深度	1回/200本	
		施工完了時	基準高、位置、間隔、杭 径	1回/200本	
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量	1回/20本	
矢板工 (任意仮設を除く)	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部 の適否	試験矢板プラス 1回/150枚	
		打込完了時	基準高、変位		
	鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部 の適否	試験矢板プラス 1回/75本	
		打込完了時	基準高、変位		
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、溶接部 の適否、杭の支持力	試験杭プラス 1回/10本	
		打込完了時(打込杭)	基準高、偏心量		
		掘削完了時(中掘杭)	掘削長さ、杭の先端土質		
		施工完了時(中掘杭)	基準高、偏心量		
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口徑杭	掘削完了時	掘削長さ、支持地盤	試験杭プラス 1回/10本	
		鉄筋組立完了時	使用材料、 設計図書との対比	30%程度/1構造物	
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	試験杭プラス 1回/10本	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	1回/10本	

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度	備 考
深礎杭		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
		掘削完了時	長さ、支持地盤	1回/3本	
		鉄筋組立完了時	使用材料、 設計図書との対比	1回/1本	
		施工完了時	基準高、偏心量、径	1回/3本	
		グラウト注入時	使用材料、使用量	1回/3本	
オープンケーソン 基礎工 ニューマチックケーソン 基礎工		鉄沓据え付け完了時	使用材料、施工位置	1回/1構造物	
		本体設置前 (オープンケーソン)	支持層		
		掘削完了時 (ニューマチックケーソン)			
		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
		鉄筋組立完了時	使用材料、 設計図書との対比	1回/1ロット	
鋼管井筒基礎工		打込時	使用材料、長さ、溶接部 の適否、支持力	試験杭プラス 1回/10本	
		打込完了時	基準高、偏心量		
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	1回/10本	
置換工 (重要構造物)		掘削完了時	使用材料、幅、延長、置 換厚さ、支持地盤	1回/1構造物	
築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況		
砂防ダム		法線設置完了時	法線設置状況		
法枠工	現場吹付法枠	型枠を組み立てアンカ ー設置後	使用材料、幅、打込長さ	1回/500㎡ 但し、500㎡未満は2回	
護岸工	法覆工(覆土施工 がある場合)	覆土前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)		
	基礎工、根固工	設置完了時	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)		
重要構造物 函渠工 (樋門・樋管を含む) 躯体工(橋台) RC躯体工(橋脚) 橋脚フーチング工 RC擁壁工 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
		床掘削完了時	基準高 支持地盤(直接基礎)	1回/1構造物 1回/1構造物	
		鉄筋組立完了時	使用材料、 設計図書との対比	30%程度/1構造物	
		埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	1回/1構造物	
躯体工 RC躯体工		沓座の位置決定時	沓座の位置	1回/1構造物	
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料、 設計図書との対比	30%程度/1構造物	
鋼橋		仮組立完了時(仮組立が 省略となる場合を除く)	キャンバー、寸法等	重点:1回/1構造物	
ポストテンションT(1) 桁製作工 プレビーム桁製作工 プレキャストブロック 桁組立工 PCホロースラブ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工 PC押し箱桁製作工 床版・横組工		プレストレス導入完了 時、横締め作業完了時	設計図書との対比	5%程度/総ケーブル数	
		プレストレス導入完了 時、縦締め作業完了時	設計図書との対比	10%程度/総ケーブル数	
		PC鋼線・鉄筋組立完了 時(工場製作を除く)	使用材料、設計図書との 対比	30%程度/1構造物	

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確認の程度	備 考
トンネル掘削工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置		
トンネル支保工		支保工完了時 (支保工変更毎)	吹き付けコンクリート 厚、ロックボルト打ち込 み本数及び長さ		
トンネル覆工		コンクリート打設前	巻立空間		
トンネル覆工		コンクリート打設後	出来形寸法		
トンネルインバート工		鉄筋組立完了時	設計図書との対比		
鋼板巻立て工	フーチング定着 アンカー穿孔工	フーチング定着アンカー 穿孔完了時	穿孔数、深さ、鉄筋切断 の有無	30%程度/1構造物	
	鋼板取付け工、 固定アンカー工	鋼板建込み固定アンカー 完了時	コンクリート面と鋼板 との間隔、固定状況		
	現場溶接工	溶接前	鋼板突き合わせ部の隙 間		
		溶接完了時	ビード部分の外観検査		
	現場塗装工	塗装前	表面の汚れ、さび落とし の状況		
		塗装完了時	塗装膜	25点/1ロット(500m ²)	
ダム工	各工事ごと別途定める。		各工事ごと別途定める。		同左

注)・表中の「確認の程度」は、確認頻度の目安であり、実施にあたっては工事内容および施工状況等を勘案のうえ、これを最小限として設定する事とする。

- ・1ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位(目地)毎とする。
- ・この表にない段階確認は、発注者の指示等によることとする。

【参考:施工計画書作成例】

16. その他

(1)品質証明計画書

品質証明事項一覧表

種別	細別	確認時期	確認項目	確認頻度	臨場・机上の別	備考
舗装工	下層路盤工	ブルフローリング実施時	ブルフローリング実施時	1回/工事	臨場	段階確認
矢板工	鋼矢板	打込時	使用材料	材料搬入時	臨場	
			長さ	材料搬入時	臨場	
		完了時	基準高	1回/150枚	臨場2回 机上	
			変位	1回/150枚	臨場2回 机上	
舗装工	下層路盤工	完成時	基準高	1回/工事	臨場	出来高管理
			厚さ	1回/工事	臨場	
			幅	1回/工事	臨場	
	上層路盤工	上層路盤完成時	厚さ	1回/工事	臨場	
			幅	1回/工事	臨場	
	表層	表層完成時	厚さ	1回/工事	臨場	
			幅	1回/工事	臨場	
	上層路盤工	施工時	出荷時温度	1回/工事	臨場	品質管理
			舗設時温度	1回/工事	臨場	
			開放時温度	1回/工事	臨場	
表層工	施工時	出荷時温度	1回/工事	臨場		
		舗設時温度	1回/工事	臨場		
		開放時温度	1回/工事	臨場		

品質証明書

平成 年 月 日

工事番号:

工事名:

品質証明記事					
品質証明事項	実施日	箇所	品質証明員氏名	印	記事

品質確認をした結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他の関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

品質証明員
氏名

印

様式-2

施工プロセス品質確認チェックリスト

1. 工事名: _____

2. 工事場所: _____

・現場代理人: _____

3. 請負者: _____

・主任技術者: _____

提示・提出時期	品質証明員 氏名 (印)	対象検査等	確認者氏名 (印)	確認年月日
平成 年 月 日		工事着手前		
平成 年 月 日				
平成 年 月 日				
平成 年 月 日				
平成 年 月 日				

品質確認をした結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他の関係図書に示された品質を確保していることを下記のとおり確認したので報告します。

平成 年 月 日

品質証明員氏名 印

- ① 本チェックリストは、標準仕様書、契約約款等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを品質証明員が確認する。
- ② チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日及びその内容がOKであれば口にレマークを記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況等を記録する。

(1/4)

項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期(指示事項)			備考 (指示事項及びその是正状況等)		
				着手時	施工中	完成時			
1	I 施工体制一般	○建設業退職金共済制度等	・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識が現場に掲示されている。 (施工時1回程度)	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>		
			・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施工時適宜)	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>		
		○施工体系図	・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所掲げている。 (施工時の当初、変更時)		() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	
			・施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工時1回/2~3月程度)		() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>		
			・施工体系図に記載されている主任技術者及び施工計画書に記載されている技術者が本人である。 (施工時の当初、変更時)		() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>		
		○建設業許可標識等	・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、監理技術者を正しく記載している。 (施工時1回程度)		() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>		
・労災保険関係の項目が現場の見やすい場所に掲示されている。 (施工時1回程度)			() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>				

項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期(指示事項)			備考 (指示事項及びその是正状況等)	
				着手時	施工中	完成時		
2	I	○現場代理人	・現場代理人は、監督員との連絡調整及び対応を書面で行っている。 (施工時適宜)	()	()	()		
		○専門技術者の配置	・専門技術者を専任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	()	()	()		
		○作業主任者の選任	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	()	()	()		
	施工状況	I	○設計図書の照査等	・契約約款第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行っている。 (着手前、施工時適宜)	()	()	()	
				・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 (着手前、施工時適宜)	()	()	()	
		○施工計画書	・施工(変更含む)に先立ち、提出した。 (着手前、変更時)	()	()	()	()	
			・記載内容と現場の使用材料及び施工方法が一致している。 【臨場は1回以上】 (施工時適宜)	()	()	()	()	
			・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。 【臨場は1回以上】 (着手前、変更時)	()	()	()	()	
			・記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している。 【臨場は1回以上】 (施工時適宜)	()	()	()	()	
		○工事の着手	・契約着手日後、30日以内に工事に着手した。 (着手時)	()	()	()	()	
		○施工管理 ・工事材料管理 ・出来形、品質管理 ・イメージアップ	・工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。 (施工時適宜)	()	()	()	()	
			・品質管理確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できる。 (施工時適宜)	()	()	()	()	
			・日常の出来形、品質管理が書面にて確認できる。 (施工時適宜)	()	()	()	()	
			・工事記録写真等の整理がよくなされている。 (施工時適宜)	()	()	()	()	
・品質確保の取り組みとして独自の出来形、品質管理基準が、作成されており、その基準に基づき管理している。 (施工時適宜)	()		()	()	()			
・イメージアップについて特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組みを積極的に実施している。 (施工時適宜)	()		()	()	()			
○検査(確認を含む)及び立	・段階確認の確認時期が適切である。 (施工時適宜)		()	()	()	()		

項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期(指示事項)			備考 (指示事項及びその是正状況等)	
				着手時	施工中	完成時		
II	○建設副産物及び建設廃棄物	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることが確認できる。 (施工時適宜)	()	()	()			
		・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工時適宜)	()	()	()	()		
	○指定建設機械類の確認	・指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音型・低振動型建設機械)を使用している。 (施工時1回程度)	()	()	()			
		○工程管理	・フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 (施工時適宜)	()	()	()		
			・現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出している。 (施工時適宜)	()	()	()		
	・作業員の休日の確保を行った記録が整理されている。 (施工時適宜)		()	()	()			
	III	○安全活動	・災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。 (施工時適宜)	()	()	()		
			・店社パトロールを実施し、記録がある。 (施工時1回/2~3月程度)	()	()	()		
			・安全・訓練等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	()	()	()		
			・安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	()	()	()		
・新規入場者教育を実施し、記録がある。 (施工時適宜)			()	()	()			
・過積載防止に取り組み、記録がある。 (施工時適宜)			()	()	()			
・使用機械、車輛等の点検整備等が管理され、記録がある。 (施工時1回/2~3月程度)			()	()	()			
・重機操作で、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされた点検記録等がある。 (施工時適宜)			()	()	()			
・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の記録がある。 (施工時適宜)			()	()	()			
・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。 (施工時適宜)			()	()	()			
・保安施設等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。 (施工時適宜)	()	()	()					
		・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者には是正報告した記録がある。 (施工時適宜)	()	()	()			

項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック時期(指示事項)			備考 (指示事項及びその是正状況等)	
				着手時	施工中	完成時		
	IV 対外関係	○関係機関等	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。 (施工時適宜)	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	
			・地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関する苦情対応を適切に行い、記録がある。 (施工時適宜)	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	
	V その他	○総合評価	・総合評価技術資料の「施工計画等」、「技術提案等」に記載した項目について施工計画書に記載されている。 (施工計画時)	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	
			・施工計画書に記載された実施項目について、履行が確認できる。 (施工時適宜)	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	() <input type="checkbox"/>	

品 質 証 明 員 通 知 書

平成 年 月 日

総括監督員 殿

請負者 住所

氏名 印

共通仕様書第3編1-1-7に基づき、品質証明員を下記のとおり定め(変更)たので、別紙経歴書を添えて通知します。

記

- 1 工 事 番 号
- 2 工 事 名
- 3 工 事 場 所
- 4 品質証明員氏名

経 歴 書

現住所

氏名

生年月日

年 月 日(歳)

学歴(最終学歴)

資格(法令による免許及び登録番号)

職歴

年 月 に入社

実務経験年数

工事経歴

1

1

1

1